

《教材名》 10匹きのおたまじゃくし

《ねらい》

- 目と手の協応を促す。
- 意識的な手指活動（にぎる、持つ、放す等）。
- 1～10までの数唱に慣れる。

《使い方》

絵本『ちいさなおたまじゃくし』の読み聞かせながら、1匹ずつおたまじゃくしを箱に移す。おたまじゃくしに触れながら、1～10まで数唱する。

《使用した効果》

絵本や手元に視線を向けていられたり、おたまじゃくしを見ながらそこに手を伸ばしたりすることが多くなった。

おたまじゃくしを握ろうとする、箱に向かって腕を動かす、おたまじゃくしを放す、という動きが見られるようになってきた。

